

大隅森林管理署交渉（全国林野関連労働組合大隅森林管理署分会）

議事要旨

1 日 時 令和6年5月23日（木） 12：25～12：45（20分）

2 場 所 大隅森林管理署 会議室

3 出席者

大隅森林管理署

佐竹 敏郎 署長

同

金津 圭介 次長

同

間宮 学 総括事務管理官

全国林野関連労働組合大隅森林管理署分会

小島 洋一 執行委員長

同

岩下 泰弘 副執行委員長

同

吉田 貴博 書記長

同

岩崎 正二 執行委員

同

藤崎恵莉佳 執行委員

4 交渉事項

（1）令和6年度事業実行体制に係る労働条件について

① 空席ポストの解消について

② 事業量増加に伴う職員への負担について

5 議事概要

（1）令和6年度事業実行体制に係る労働条件について

① 空席ポストの解消について

組合） 4月の人事異動で更に空席ポストと空席ポストに伴い事務取扱者が増えたが、グループの業務の回しはしっかり行えるのか。

また、一般職員が森林整備官の業務を行うなど若手職員への過度な負担が懸念される。空席ポストの解消を求めるとともにしっかりとしたフォロー体制をとる対策を行い、業務運営が円滑に進むよう求める。

当局） 当署の事業実行については、貴組合はもとより職員の理解と協力を得て取り組んでいるところであり、感謝を申し上げる。

各業務を円滑に行うには、現在各グループで総括を中心に行っている打ち合わせ等を引き続き実施し、職員間の連携を密にして業務が回るよう進めてまいりたい。

また、一般職員への過度な負担がないよう、目配り気配りをしつつ状況も把握し、フォローアップをしてまいりたい。

空席ポストの解消は機会あるごとに上局へ申し入れをしているところであり、引き続き署の実態を説明し解消に取り組んでまいりたい。

② 事業量増加に伴う職員への負担について

組合) 年々事業量が増えているが実行体制をどのように考えているのか。

過度な超過勤務が発生しないよう応援体制を図ること。

また、一部の職員への過度な負担とならないよう配慮することと併せて年休の取得しやすい職場づくりをお願いする。

当局) 前年度より事業量が増加している事業があり、各事業を円滑に行うには署長がリーダーシップを発揮し、職員間で協力して行く体制をつくり事業を実施してまいりたい。

また、一部の職員への過度な負担とならないよう配慮するとともに、何でも相談できる風通しの良い職場づくりに引き続き取り組んでまいりたい。

さらに、計画的に年休が取得できる環境をつくり、年休取得が少ない職員へは取得を促してまいりたい。